X技術カタログに新技術追加

のさらなる拡充を図るこ

ム、広角展開式カメラシ

の管厚・強度測定技術、

ステム、下水道管内リア

常・予兆検知AIシステ | 空洞調査技術、大口径管

う考えだ。 間整理を行

今回追加した新技術は

ルタイム水位監視システ

る観点からカタログ内容

上下水道メンテナンス推進

道管路マネジメントのための技術基準等検討会」(委員長・森田弘昭日本大学生産工学部教授)

国土交通省は10月6日、東京・千代田区の公益社団法人日本下水道協会会議室で第2回「下水

発 行 所 (株)日本設備工業新聞社

東京都渋谷区桜丘町10-13 〒150-0031 野元第1ピル 電 話 (03) 3496-4774代 FAX (03) 3464-1884

info@setubikougyo.co.jp 年極8,800円(税·送料込)

TOTO

(1)

第2558号 45件の新技術を追加し

き技術なども11件掲載し れた高度化・実用化すべ 会」の第2次提言で示さ

ルトランスフォーメーシ

|テナンスの高度化・効率 | 提供するには上下水道D

隔点検清掃ロボット、A 自動化、構造物内面の遠

どとなっている。

カメラ、AI画像認識を 径管渠スクリーニング用 空間点検ドローン、大口

型水位計監視システムな よる点検調査、クラウド

Iによる劣化診断システ

ム、水管橋点検用ドロー

高度化・実用化すべき技

第2次提言で示された

Xの活用が不可欠だ。こ

のため同省は日進月歩の

技術革新に対応し、デジ

ン、設備台帳マネジメン

化・省力化技術、

などを活用していく。

上下水道DX技術カタ

中、将来にわたって上下

職員の急速な減少が進む

技術、遠隔監視・検針シ

術、四足歩行口ボットに

カメラロボット、超狭小

には長水路トンネル内面

が盛り込まれた。具体的 なモニタリング技術など センシングによる継続的

る測定値DX化・管理技 ム、汚水処理施設におけ

よる自動検針・漏水発見 スマート水道メーターに

ステム、水質検査業務の

水道サービスを安定して

まとめたもので今年3月 化を図るデジタル技術を

に公開。施設の老朽化や

管理業務に精通した熟練

タル技術の導入を促進す

技術の活用を推進する ナンスにおけるデジタル 日、上下水道施設メンテ

踏まえた対策検討委員 大規模な道路陥没事故を で「下水道等に起因する | ログは上下水道施設メン 破壊の地盤探査技術など

国土交通省は10月3 / た。AI、ドローン、非 / ている。



吉澤課長



や多重化に関する施策を 要求に下水道管路の更新 ち「令和8年度予算概算

協力を得て管路メンテナー する」と要請した。 議事では下水道管路の

検討委員会」の第2次提一にしている。 陥没事故を踏まえた対策 に起因する大規模な道路 足。国交省の「下水道等 する同検討会は8月に発 学識者や地方公共団 | 言を踏まえ、国と下水道 関係団体などで構成 協会が定めている維持管

的に見直し、重要な項目 | 理・構造基準などを包括 については国の技術的基 準などに引き上げること

課長が冒頭あいさつに立

国土保全局下水道事業 当日は吉澤正宏水管理

基準の見直しを進めてい 盛り込んだ。全国特別重 ただきたい。皆さまのご し、点検・調査・診断や 点調査の実施結果を活か

開き、年末

をめどに中

推進し、下水道の安心・

本日は点検・調査・診断 極的な意見交換をお願い に関する基準について積 の大きな試金石となる。 が関与することから全国 と意欲を示した。 への影響度が高く、今後 技術基準の見直しは国 続いて森田委員長が

めた総合的な取り組みを 環境の整備、経営面も含 ンス技術の高度化や普及

別の判定基

ーム管、鋳

鉄管、塩ビ

管など構造

構造に応じた判定基準設定

るとともに、診断の質の確保へ構造に応じた判定基準を設定する。



国交省検討会が活発に意見交換 化して 年内に2回 果の可視化 上、診断結 確保・向 準の設定、 などを具体 診断の質の は引き続き 同検討会

卟水道管路の技術基準見直 システムキッチン

緊急的な対策事例などを 間とりまとめについて報 埼玉県八潮市で発生した 告。また施工困難箇所の する原因究明委員会の中 点検・調査・診断に関

全国特別重点調査におけ

一術の導入・活用、診断区 る実施方法の充実、セン 安全確保の手法確立、社 が困難な管路への対応、 会的影響などの観点によ 査箇所の選定、立ち入り シングなどに関する新技 ド管、ヒュ 分の見直 し、シール

よる頻度の強化、重点調 する基準については点検 調査のサイクル短縮に

管友ネッ

•



Kamamoto 川本



			EBAR
irta i	山産 機	1& / 1/1 \	墨田区墨田4-61-13 〒131-0031
) 	山连惊	艺 (作不)	TEL(U3)5247-7131 FAX(U3)5247-7133
11	柏営美	坐 示	柏市十余二348 〒277-0872
		K 7/1	TEL(04)7132-6361 FAX(04)7132-9270
,,	小岩営	举示	江戸川区本一色2-18-7 〒133-0044
//	小石古	未川	TEL(03)3654-8111 FAX(03)3651-1245
,,,	\ 丈島営	ᄴᇊ	八丈島八丈町三根398 〒100-1511
///	(人) 日	末 川	TEL(U4990/2-14U2 FAX(U4990/2-21U2
(株)	岡	本	新宿区新宿1-11-15 〒160-0022
(17K)			TEL(03)3356-4871 FAX(03)3356-4374
倉	地	(株)	墨田区本所1-33-9 〒130-0004
<i>_</i>		(171)	TEL(03)3624-4441 FAX(03)3622-6894
,,	松戸る	5 F	松戸市大橋白幡1108-3 〒270-2224
"		人口	TEL(047)391-5711 FAX(047)391-5777

_			
(株) 角	産	練馬区平和台3-26-15 〒179-0083	
	円	圧	TEL(03)3931-0701 FAX(03)3931-0702
//東京西営業所		一 学 学 学 子 に	練馬区西大泉6-10 -2 〒178-0065
"	米示四	古未加	TEL(03)5387-5611 FAX(03)5387-5610
//足立営業店		计举示	足立区保木間1-11-2 〒121-0064
"	C T E	古未加	TEL(03)5831-0801 FAX(03)5831-0800
//葛飾営業所			葛飾区奥戸6-4-12 〒124-0022
// 1	60 即 2	未川	TEL(03)5671-0391 FAX(03)5671-0394
(14)	HZ 1:	総業	杉並区荻窪3-47-15 〒167-0051
(T/T)	±1, 4,7	心未	TEL(03)3393-2211 FAX(03)3391-4227
//東松山営業所			東松山市六反町15-12 〒355-0023
// !	宋仏山	当来川 	TEL(0493)23-2921 FAX(0493)23-9216
(株)	,	ムラ	杉並区荻窪3-47-17 〒167-0051
	,		TEL (03)3391-2211 FAX(03)3392-5616

予村機器 ㈱	小平市小川町1-341-2 〒187-0032
און דום אמו נוי נ	TEL(042)342-2211 FAX(042)344-2211
ナンコー機材㈱	昭島市田中町1-36-12 〒196-0014
	TEL(042)543-8811 FAX(042)546-5116
//昭 島 支 店	昭島市田中町1-36-12 〒196-0014
	TEL(042)541-3652 FAX(042)546-3536
// 八王子支店	八王子市椚田町223-1 〒193-0942
" /\ <u>_</u>] \	TEL(042)668-2261 FAX(042)668-2271
〃 府中支店	府中市八幡町2-26-3 〒193-0942
" 的中文后	TEL(042)365-6161 FAX(042)369-4456
//西多摩支店	羽村市羽加美1-7-1 〒205-0016
"四夕序又口	TEL(042)554-1151 FAX(042)554-7516
〃 秋川支店	あきる野市瀬戸岡425-8 〒197-0803
" 1X / 11 X / L	TEL(042)559-5241 FAX(042)559-5205
〃 甲府支店	山梨県甲斐市名取729 〒400-0112
" 门	TEL(055)276-4811 FAX(055)279-0771